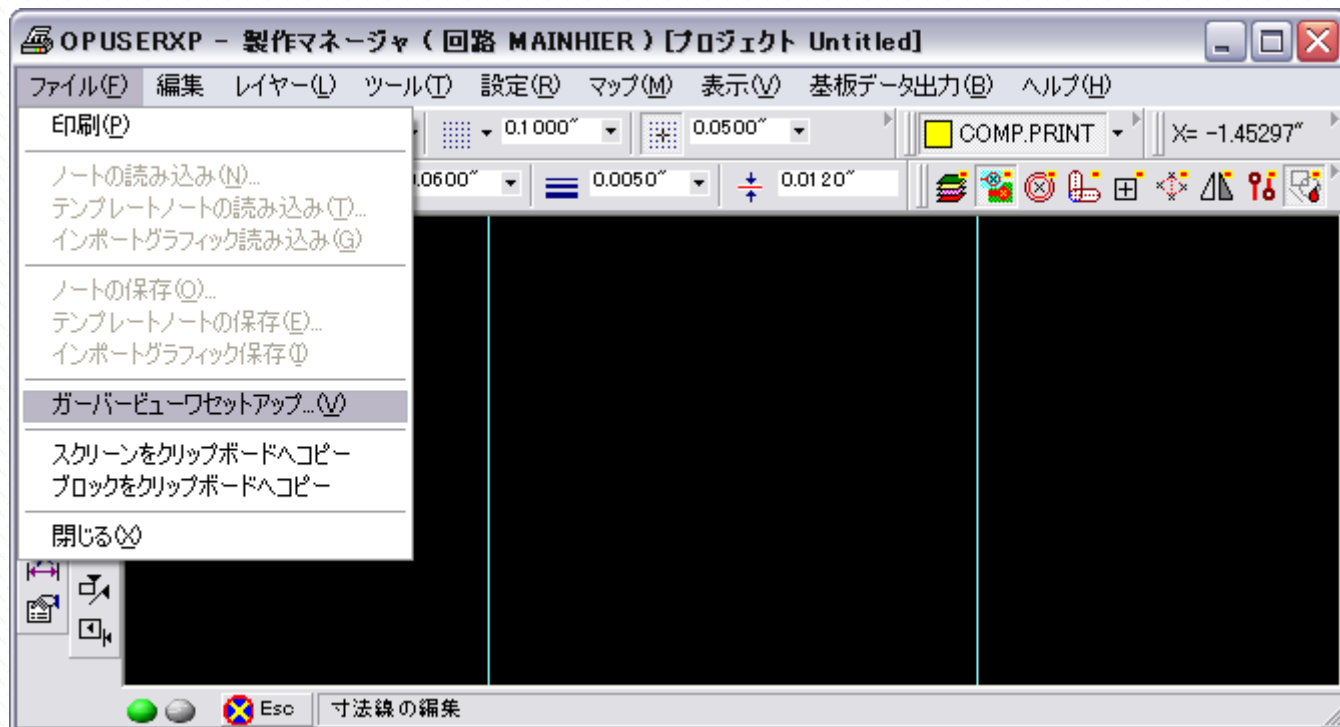


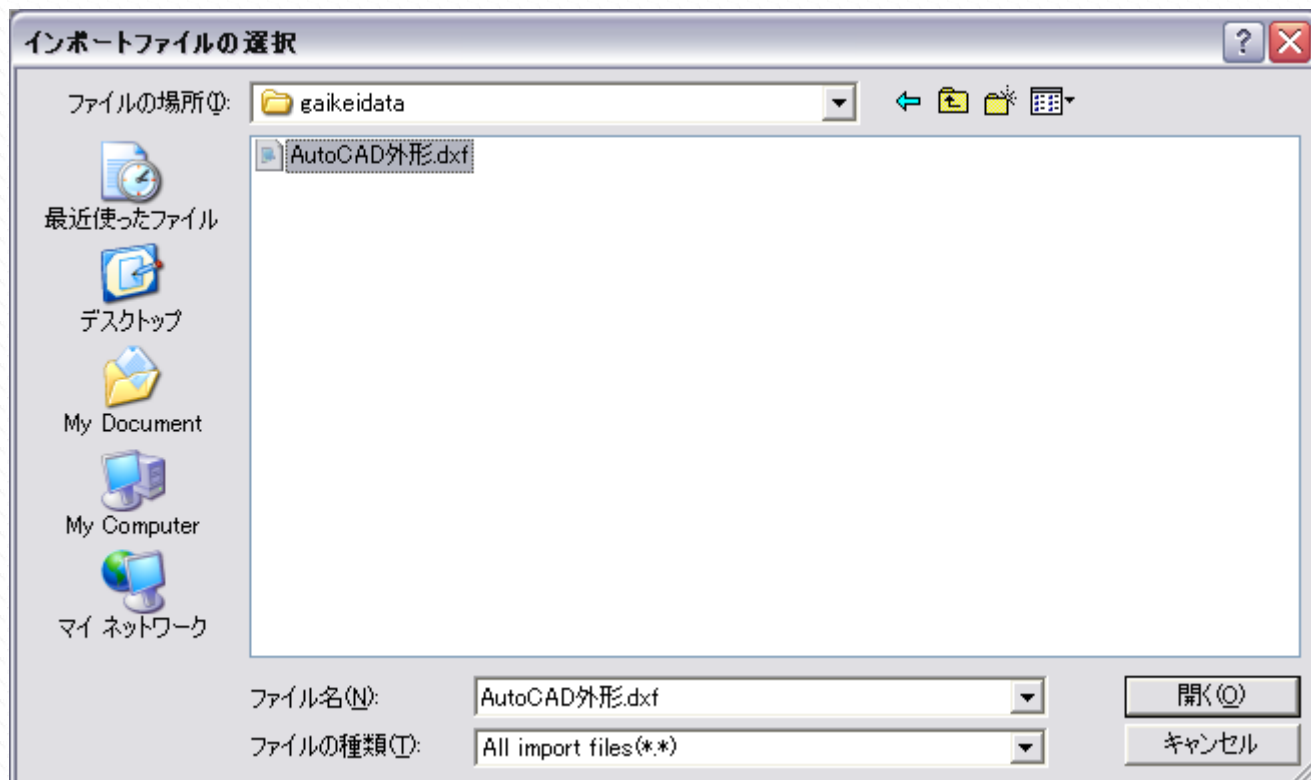
I. DXF インポート 2

DXF データをインポートして、基板外形線として使用できる他、DXF データ上に基板のカットアウトラインが作成されている場合、続けて取り込む事が出来ます。

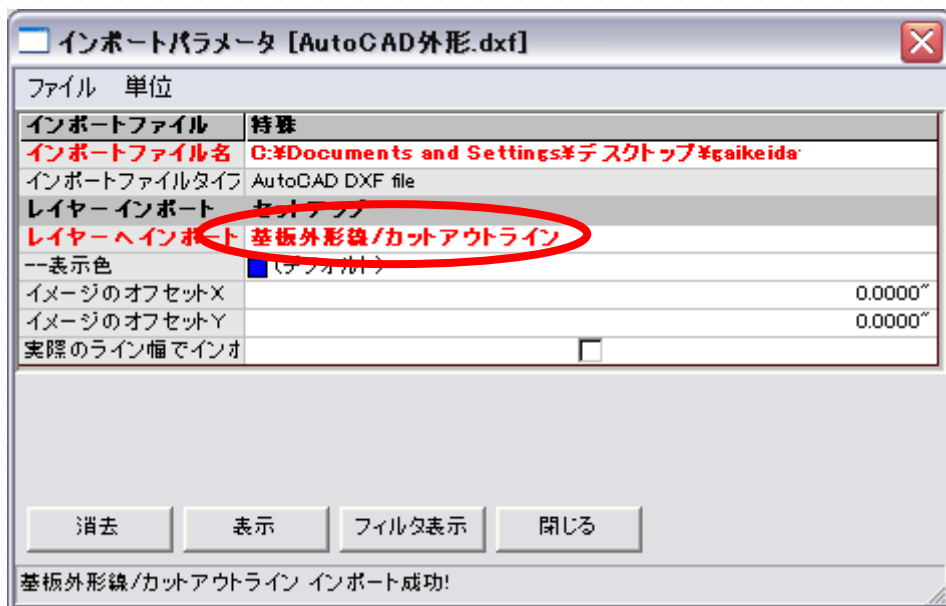
“ファイル／ガーバービューワセットアップ” を選択します。



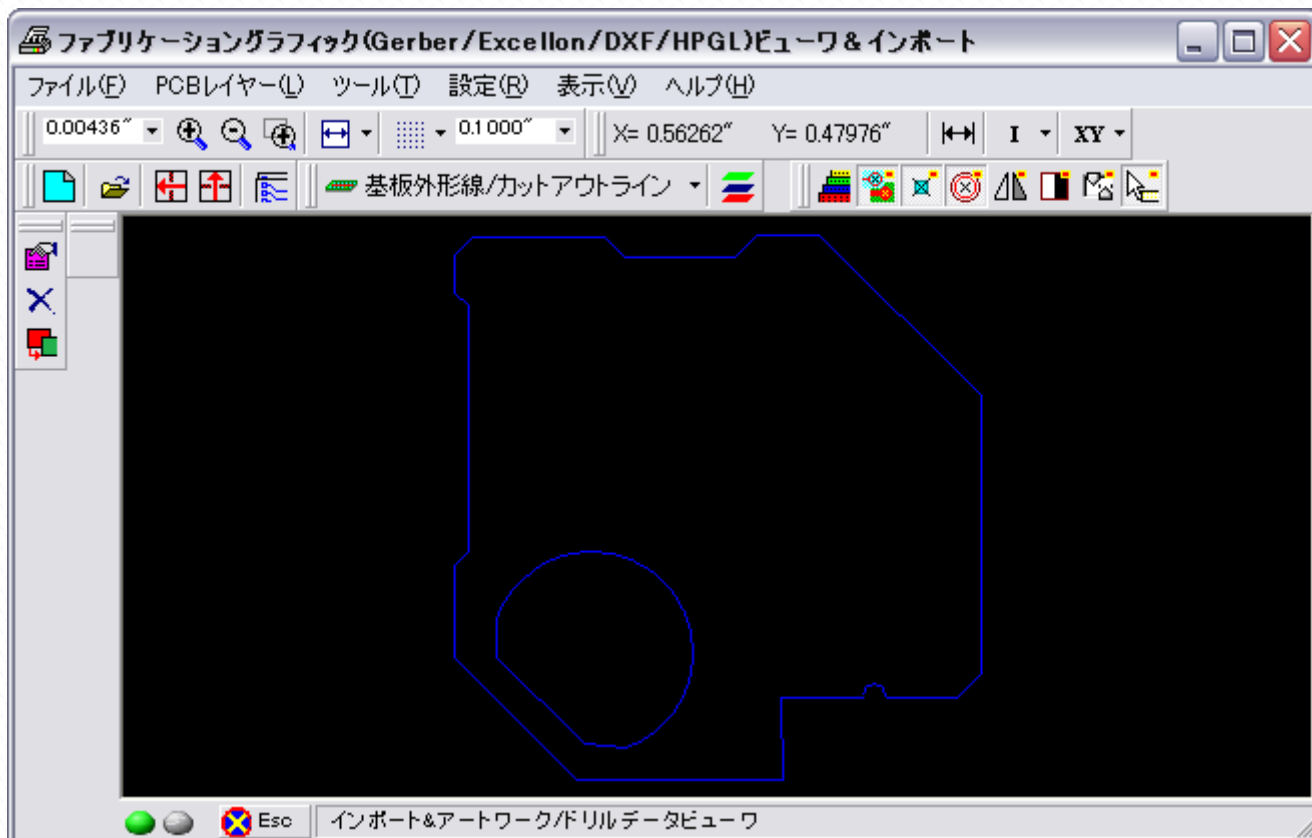
DXF データを選択します



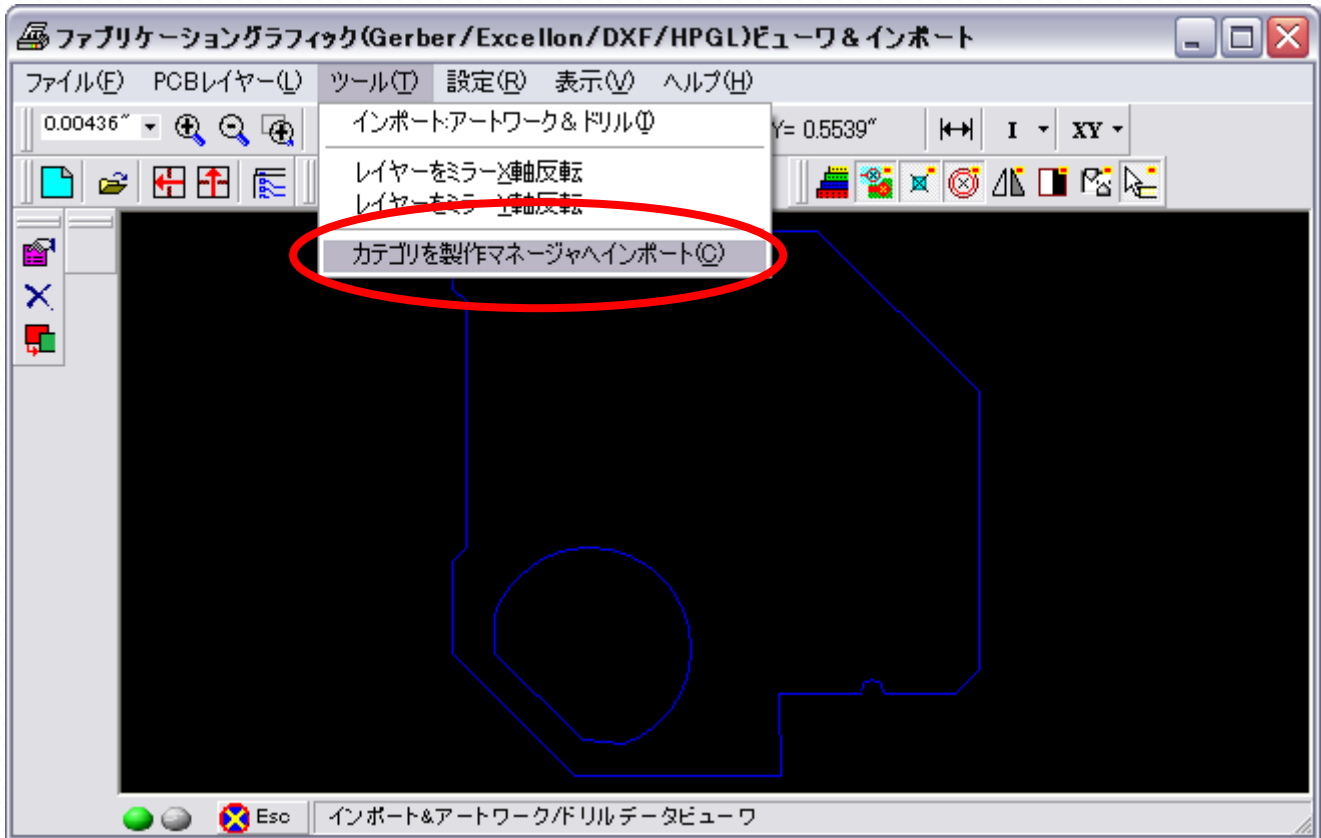
“基板外形線/カットライン”を選択します



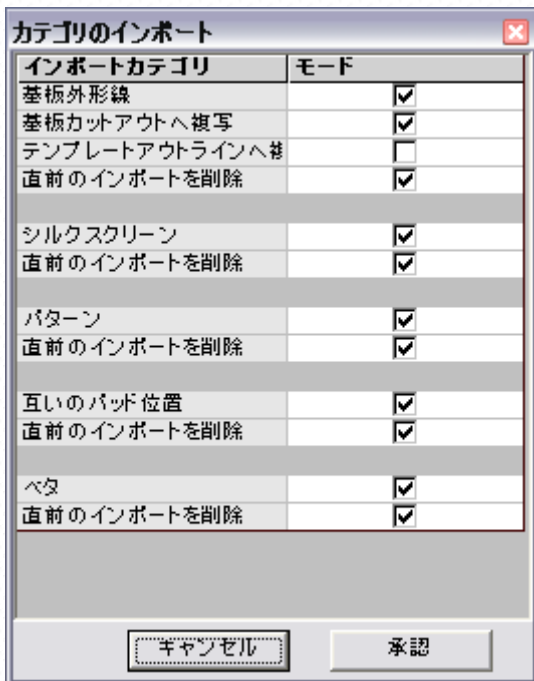
DXF データが画面に描画されます。



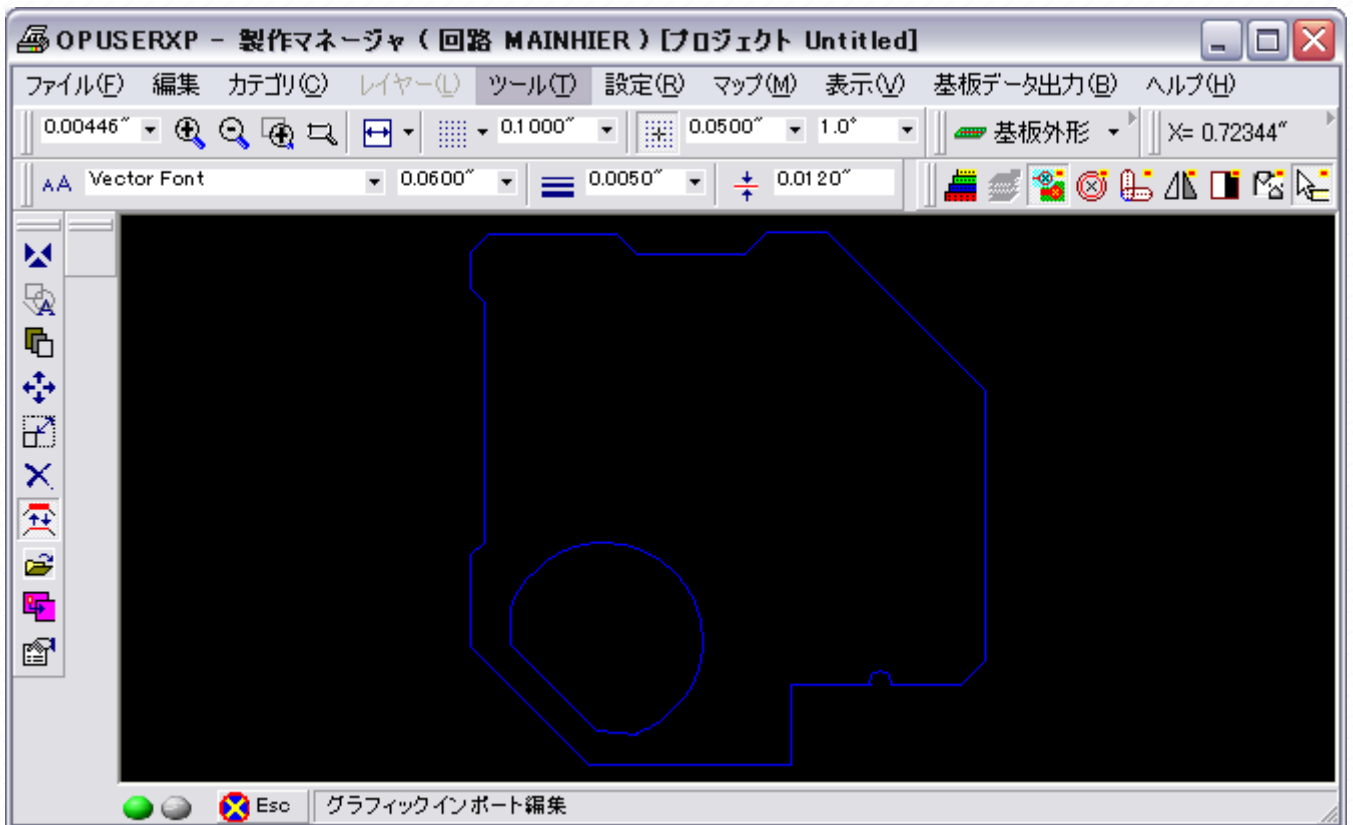
描画されたラインを製作マネージャへインポートします。



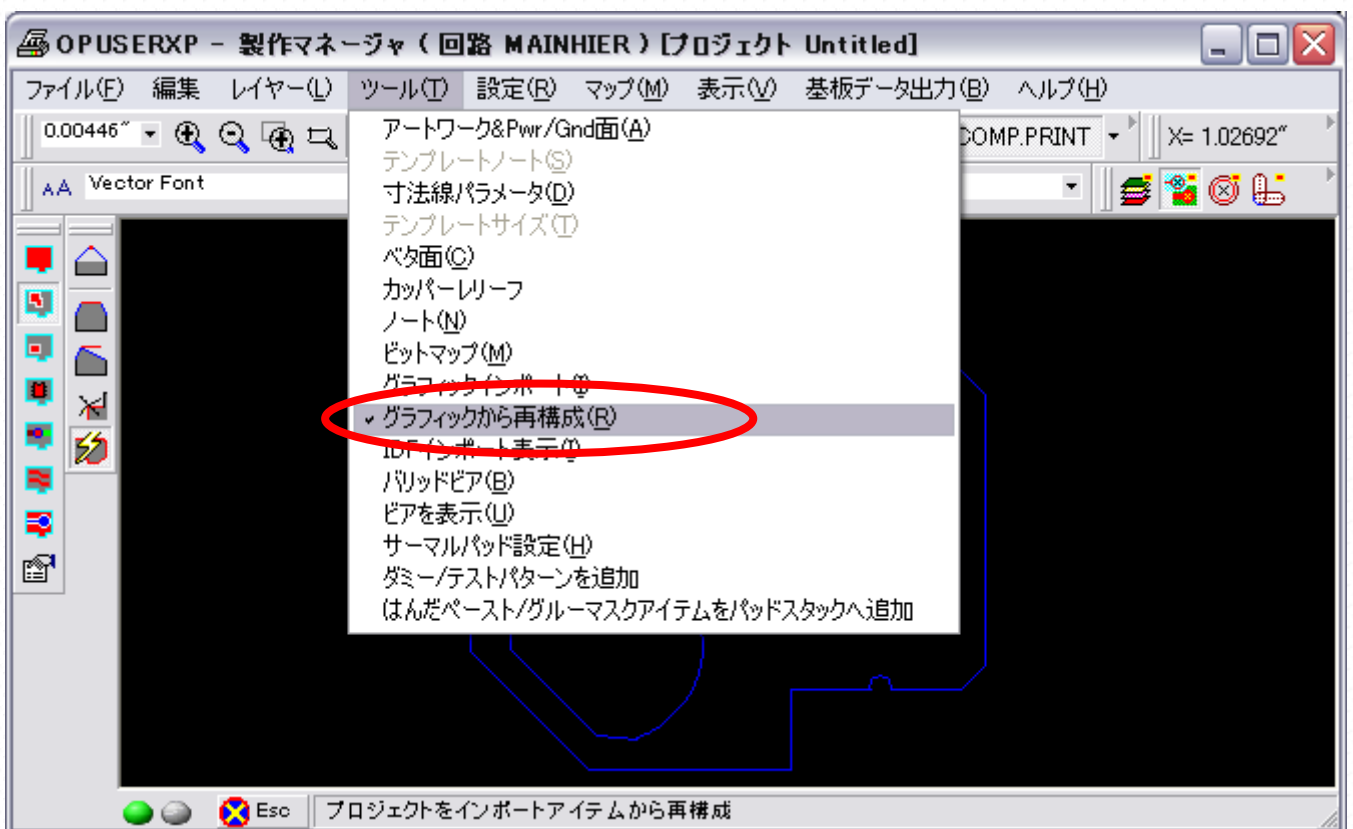
インポート設定にて“基板カットアウトへ複写”にチェックをいれます



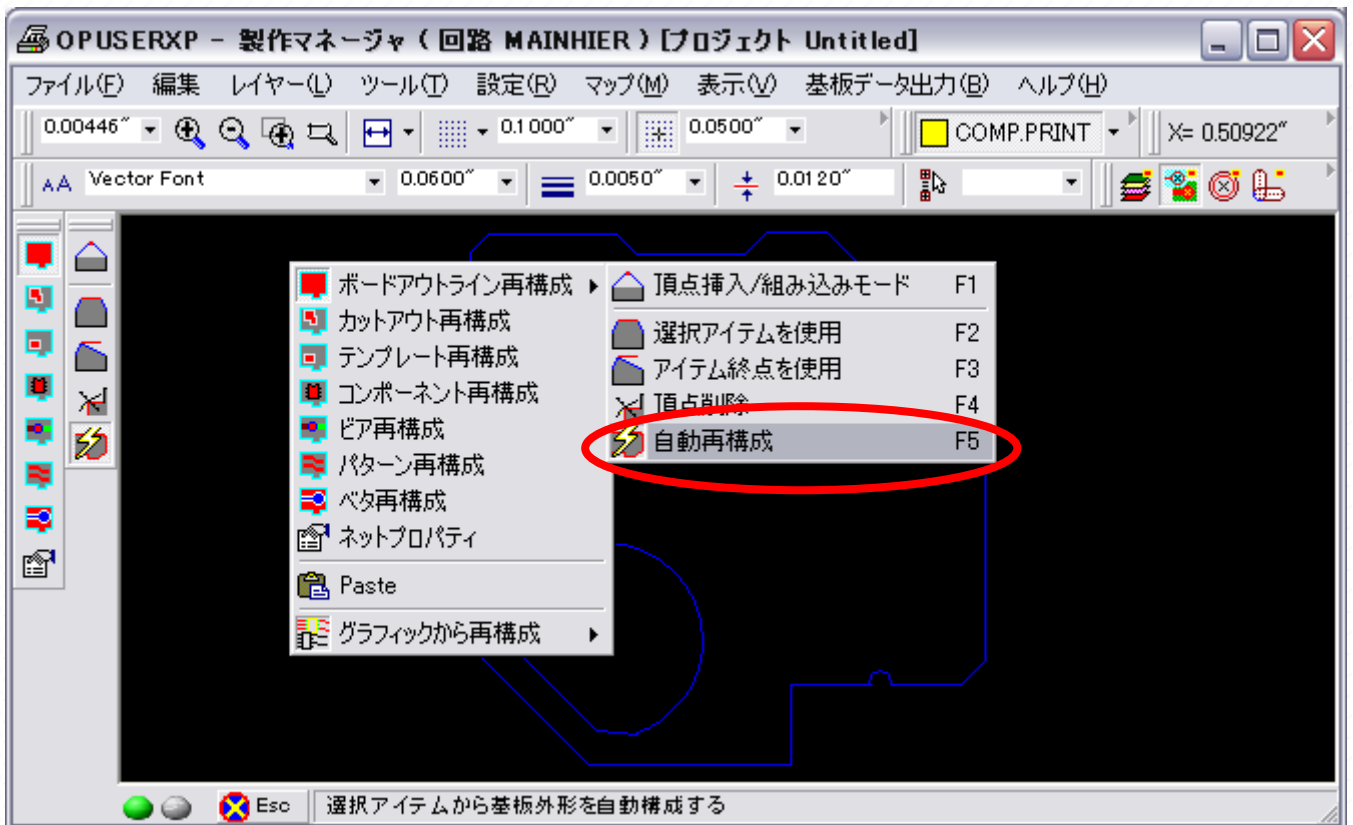
製作マネージャへインポートされます。



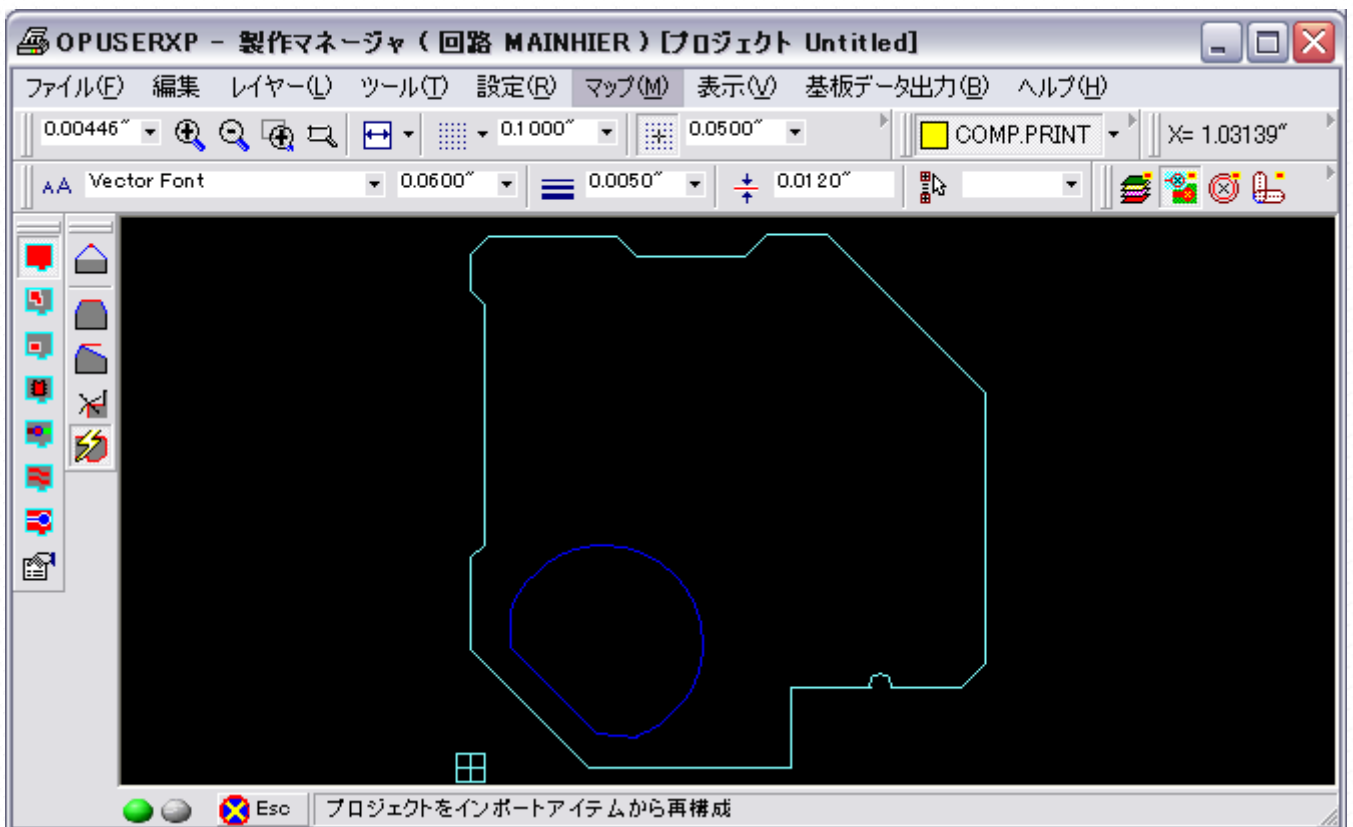
“ツール/グラフィックから再構成”を選択



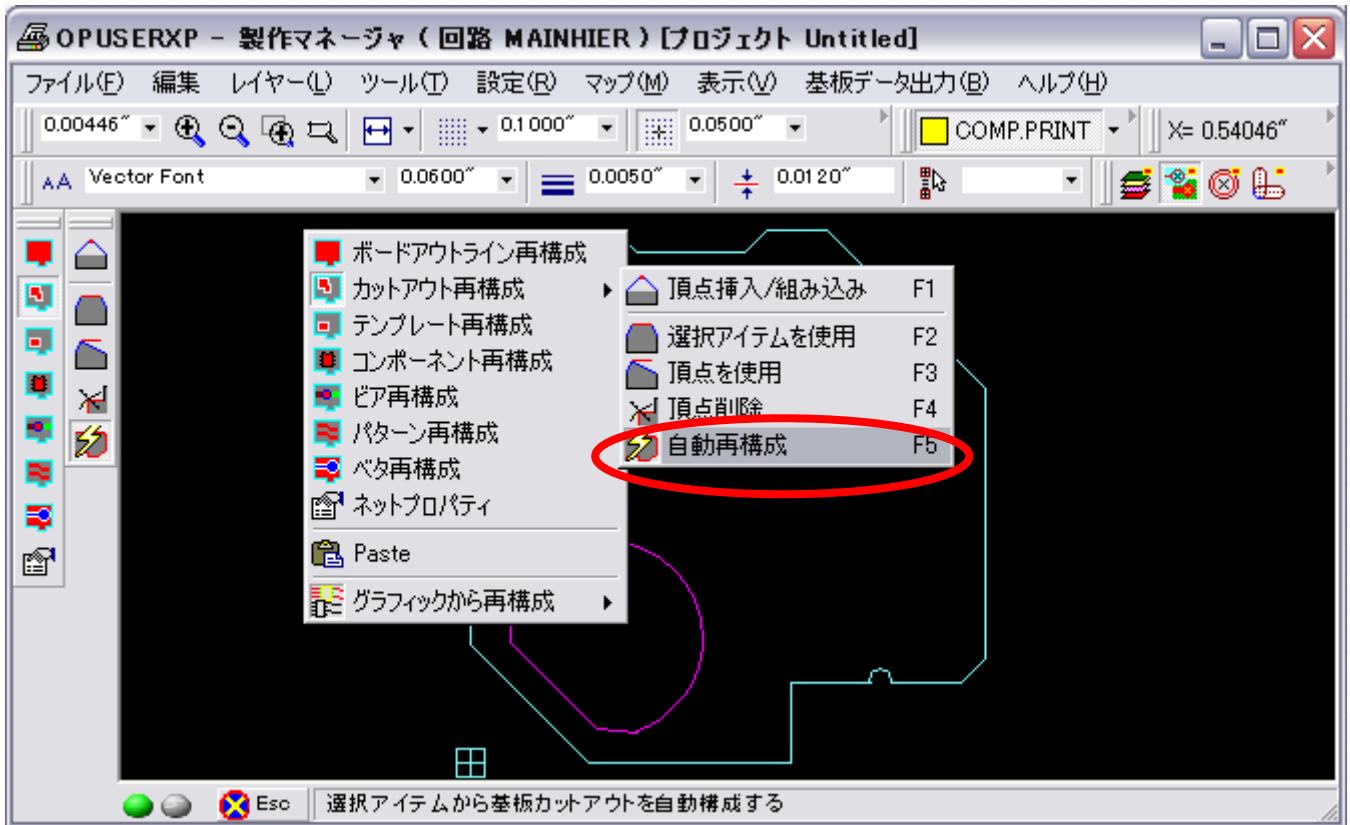
オプションツール“自動再構成”を選択し、基板外形線となるラインをクリックします。



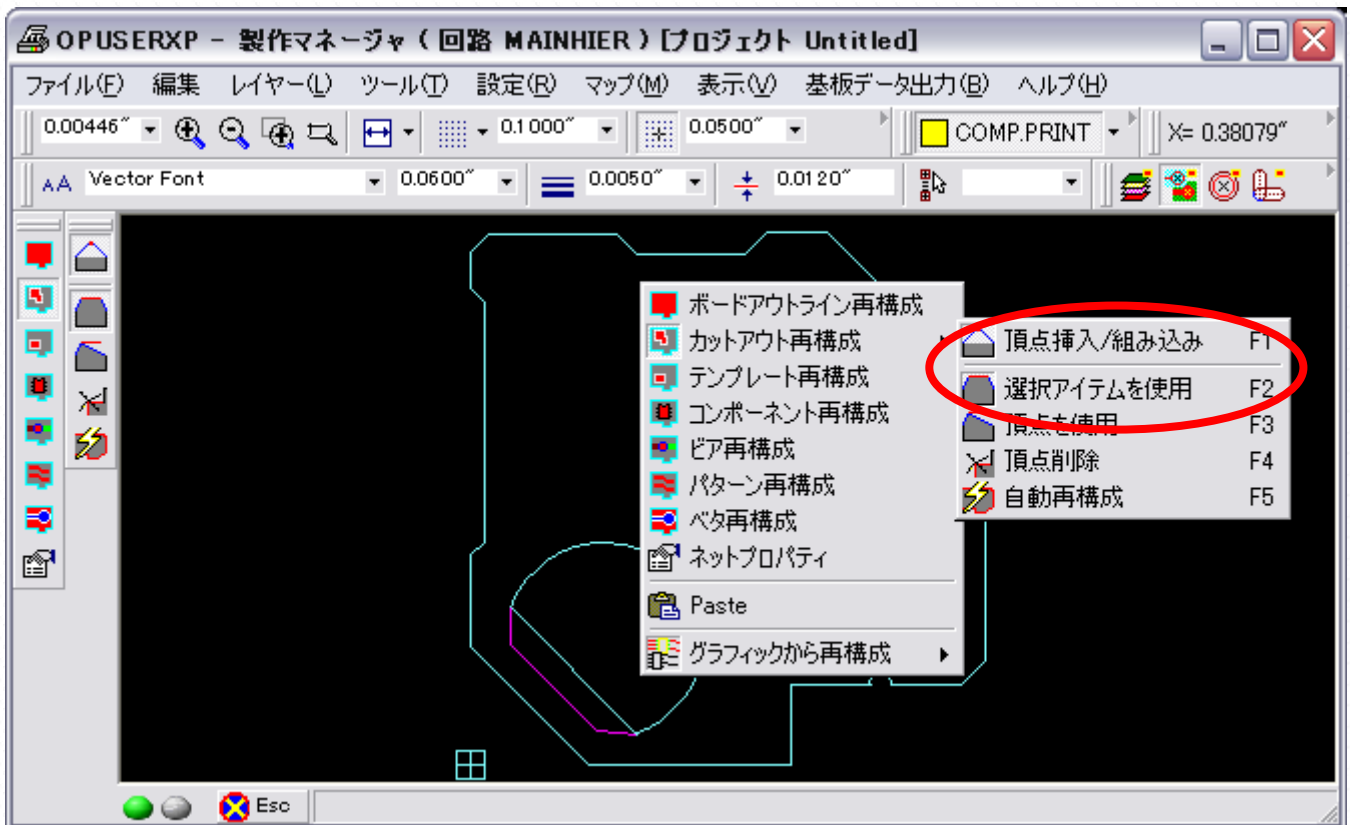
選択したラインに合わせて、基板外形線が作成されます。



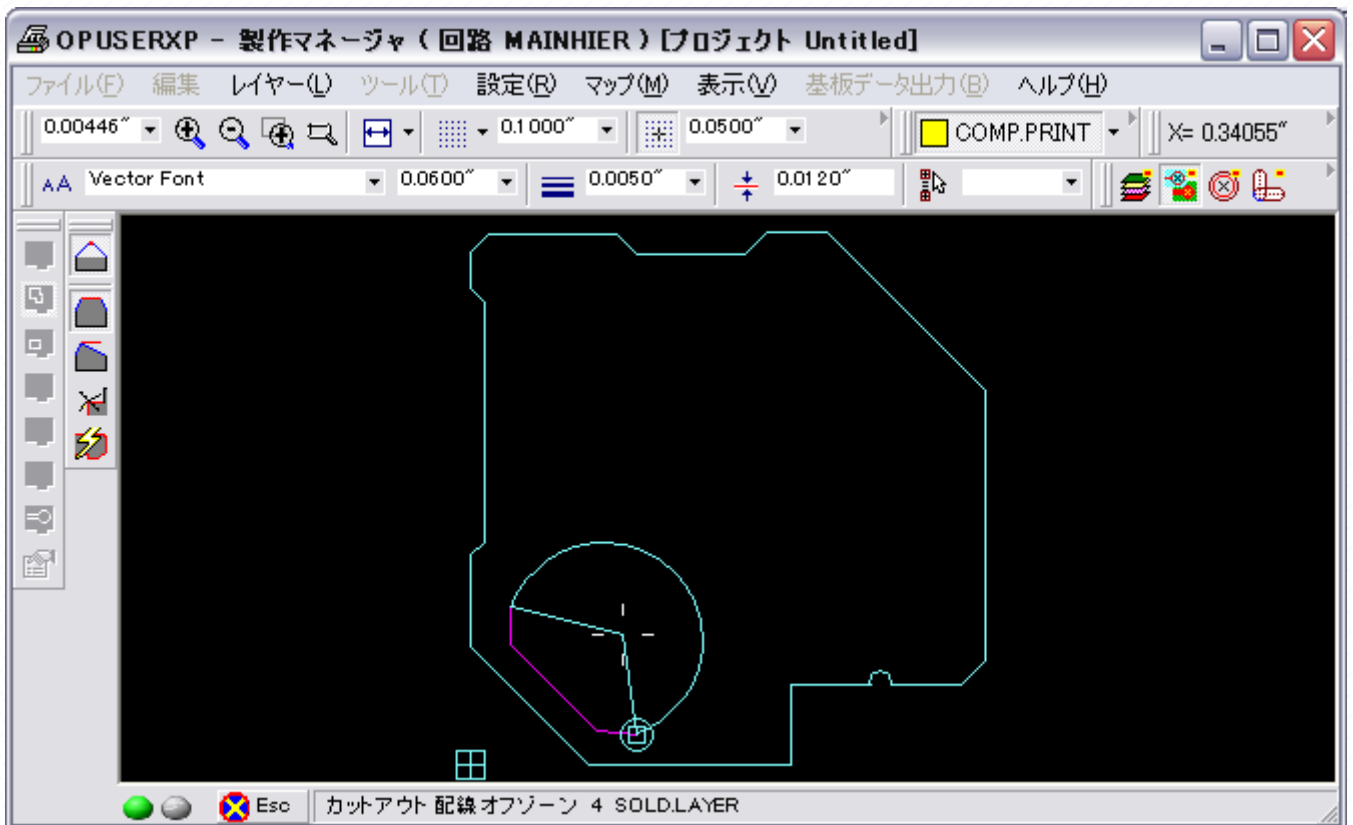
続けて“カットアウトライン再構成／自動再構成”を選択し、カットアウトラインとなるラインをクリックします。



選択したラインに合わせ、カットアウトが作成されますが、分割して作成される場合は続けて“頂点挿入／組み込み”“選択アイテムを使用”を有効にします。



カットアウトラインの辺をクリックして頂点を挿入できる状態に



カットアウトに含める図形の上へクリックで選択、カットアウトラインが作成されます。(クリックする箇所により、図形の認識のされ方が異なります)

